

熊本県立菊池少年自然の家 指定管理者 平成30年度 管理運営評価票

所管部課:教育庁教育総務局社会教育課

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとつくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設概要	<p>① 所在:菊池市原4885番地5</p> <p>② 施設:宿泊棟、研修室、体育室、キャンプ場等</p> <p>③ 目的:本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	300,154,000 円(4施設合計、利用料金制)

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	30,219 人	27,111 人	前年度実績 33,347 人
研修活動中の事故の有無	0 件	0 件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

利用の多い時期(7月～10月)の利用申し込み重複に伴う調整により、利用団体、利用者数が減少。前年度実績、目標値をともに下回っているため、受付時の聞き取りや提案をより細やかに行い、利用者数確保に努めていただきたい。

県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった。研修や安全マニュアル整備・更新等を通じた、安全確保の取組を期待する。

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	給湯運転監視	通年	
保守点検	電気設備保守点検	年6回(隔月)	専門業者に委託
	身障者用昇降機点検	年1回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	自家発電設備保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年6回	
	害虫駆除	年1回	専門業者に委託
	受水槽・高架水槽清掃	年1回	同上
	水質検査(残留塩素)	週1回	
	浄化槽保守点検	年24回	専門業者に委託
	浄化槽清掃	年1回	同上
	浄化槽法定検査	年1回	同上
	水質検査	年1回	同上
	塩素滅菌設備点検	月1回	同上
建築設備定期点検	年1回		
【点検・調査結果及び評価】 施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。			

② 運営事業実績

【主な事業・イベント】

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
幼稚園・保育所連携事業～自然のど真ん中で生き生きと～(全10回)	5～1月	238人	幼児期の自然体験活動の機会を提供し、人間形成の基礎を培う。保護者には自然体験活動の重要性を知る機会を提供する。
夏だ！川だ！サンサンサマー(全2回)	7/21、28	91人	川遊びを通じて子供たちの交流を深め、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育む。
菊少農っ子プロジェクト～田植え編～	6/23～24	24人	農業体験をとおして、農業に対する意識を高め、自然や郷土愛及び食に関する適切な思考力・判断力を育てる。
ファミリーキャンプ！～森と川への大冒険～	8/25～26	46人	自然体験活動をとおして親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を深める。
スマイルキャンプ	9/22～24	3人	キャンプや野外炊飯、カヌーなどの体験活動をとおして達成感・満足感を味わい、子供たちの自主性を育む。
水迫地区新春どんどこ	1/13	37人	地域交流事業の一環として、水迫地区との共催事業を行い、日本の伝統文化を学ぶとともに過疎地域と都市地域の交流を図る。
森の通学合宿(全4回)	1～2月	86人	子供たちは共同生活をとおして自立心を育み、親は子離れを体験し、家庭教育を見直す機会を提供する。
第4回学びの杜清流ひなまつりグラウンドゴルフ大会	3/7	97人	グラウンドゴルフの楽しさをとおして、参加者同士の交流を深めるとともに、施設を身近に感じてもらい、施設利用の拡大につなげる。

【点検・調査結果及び評価】

幼稚園・小学校、親子、地域を対象とした企画事業を地域の関係機関と連携しながら実施し、幅広い年齢層を対象に体験活動の普及・啓発に取り組んでいる点は評価できる。

今後は、既存事業における効果の検証・改善を行うとともに、地域課題に応じた新規事業の立案・実施をとおして、体験活動のさらなる普及・啓発及び利用促進につなげていきたい。

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	349 日	355 日	98.3%
	宿泊可能日数	341 日	352 日	96.9%
	利用日数	249 日	243 日	102.5%
	利用率	71.3%	68.5%	104.2%
	利用者実数	7,002 人	7,980 人	87.7%
	利用者延べ数	14,669 人	16,039 人	91.5%
キャンプ場	開館日数	349 日	355 日	98.3%
	宿泊可能日数	341 日	352 日	96.9%
	利用日数	10 日	14 日	71.4%
	利用率	2.9%	3.9%	72.7%
	利用者実数	147 人	182 人	80.8%
	利用者延べ数	294 人	418 人	70.3%
出前講座等	利用者実数	12,148 人	16,890 人	71.9%
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>バス代高騰による県内外の学校団体の集団宿泊教室等の計画見直し、突発的な荒天による利用キャンセル、出前講座における日程調整の不調に伴い、本館利用、キャンプ場利用、出前講座全てにおいて前年度の利用者数を下回っている。今後は利用者増のため、利用する各団体と事前相談を丁寧に行うことにより、リピーターを確保するとともに、広報活動の更なる充実など様々な観点から新規の利用者確保に向けた取組に期待したい。</p>				

4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目	内訳	金額(円)	
利用料金収入	本館	一般 1,886 人、高校生以下 4,869 人、就学前の者 282 人	2,548,420
	キャンプ場	一般 39 人、高校生以下 80 人、就学前の者 11 人	20,090
	宿泊を伴わない利用	一般 601 人、高校生以下 306 人、就学前の者 127 人	75,400
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け	59,032,000	
企画事業等収入	13 事業	886,215	
その他活動収入	出前講座 166 団体	978,230	
プログラム活動料金		1,288,100	
食事代		10,796,040	
シーツ等クリーニング代		730,920	
雑収入		111,968	
合計		76,467,383	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	—	

② 支出		
項目	内訳	金額(円)
人件費		47,602,527
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	11,880,764
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	22,172,164
企画事業費		648,212
合計		82,303,667

【点検・調査結果及び評価】

利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて修繕を含む施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。

5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	平成30年4月1日～平成31年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	111 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	81	73.0	26	23.4	4	3.6	0	0	0	0	0	0
	活動内容	76	68.5	22	19.8	3	2.7	0	0	0	0	10	9.0
	職員の受入れ対応	85	76.6	21	18.9	4	3.6	1	0.9	0	0	0	0
	職員の指導・助言	88	79.3	20	18.0	2	1.8	0	0	0	0	1	0.9
	食堂スタッフの対応	49	44.1	23	20.7	16	14.4	4	3.6	0	0	19	17.1
	食事の質	42	37.8	26	23.4	22	19.8	1	0.9	0	0	20	18.0
	食事の量	68	61.3	15	13.5	7	6.3	0	0	0	0	21	18.9
	屋内の施設・環境	49	44.1	42	37.8	11	9.9	4	3.6	0	0	5	4.5
	屋外の施設・環境	59	53.2	31	27.9	8	7.2	3	2.7	0	0	10	9.0
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
		85	76.6			24	21.6			0	0	2	1.8
利用者からの意見等													
【点検・調査結果及び評価】		<p>ほとんどの項目において前年度に比べ「非常によい」の評価が上昇していることは評価できる。アンケート結果の職員間での共有化等の取組によるものとみられるが、引き続き高い評価を維持・向上し、利用者増につなげていただきたい。</p> <p>食事の質においては前年度と比較し「非常によい」「よい」の合算値の割合が低下している。利用者の意見を丁寧に聞き取る等の取組を引き続き行い、改善を目指していただきたい。</p>											

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【点検・調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
キャンプ場利用者増に向けた環境整備や企画事業への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・テントサイト土台や野外調理場の修理等の環境整備を行い、利用しやすい環境づくりを心掛けている。 ・企画事業においてもキャンプ場でのプログラムやテント泊を実施している。
施設利用につなげる取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や幼稚園・保育園、PTA団体など、様々な団体への出前講座を実施し、講座の中で施設利用を通じた体験活動の魅力や重要性を利用団体へ伝えている。
食堂スタッフの対応、食事の質の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・おかずは利用者の希望した量に応じて提供し、ご飯についてはセルフサービスを取り入れ、利用者の希望や体調に応じた食事がとれるような工夫を行っている。
アンケート結果から利用者のニーズを汲み取り、サービスの向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の利用相談や荒天時の活動変更相談などに丁寧に対応し、利用団体のニーズに沿ったプログラムの提供を行っている。
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>指摘事項に対する対応・取組は評価できる。</p> <p>食事の質の向上については、予算の制約はあるが、小さな改善活動を継続し、利用者の評価向上に努めていただきたい。また、施設の運営や他団体への影響がない範囲において、食事の時間や食事の量の調整など、利用団体の実態に応じた対応を今後継続して行っていただきたい。</p>	

8 その他

多様な団体を受け入れることを想定した新規プログラムの作成や、大学生や専門学生、社会人などの利用促進を図るための広報活動の充実を図っていただきたい。